「しがぎん」
カーボンニュートラルローン 未来よし

滋賀銀行は環境保全に役立つ取組みに限定して適用する金利プランに加え、「琵琶湖原則支援資金（PLB資金）」「エコ・クリーン資金」「エコ&耐震住宅ローン」「セレクトリフォームローン（エコ&耐震）」のご利用を通じて削減された温室効果ガス（CO2）の排出量を、当行が独自に定めた基準で金額換算し、財団法人滋賀県水産振興協会が行う「ニゴロブナ」と「ワタカ」の放流事業の一部に資金を拠出。「ふなずし」といった湖国の食文化（スローフード）の保全に貢献します。

未来の地球のために、今できること。
SHIGA BANK

ニチユ

ライダー型無人フォークリフト

昼間は有人。夜間は無人。

これから無人搬送車を導入されるお客様へ新たな選択肢の登場です。
乗車が可能となった新発売の「ライダー型無人フォークリフト」は、
自動運転も有人運転も1台で切り替えられる汎用性の高さが魅力です。

簡単切替　無人運転 ⇄ 有人運転　1台2役

- 物量ピーク時には、機動力の高い有人運転に切り替えて柔軟に対応できます。
- 万が一のシステムダウン時には、有人に切り替えると作業が停滞しません。
- 無人エリアでの稼働率が低い時には、有人作業エリアにも使用が可能です。

日本輸送機株式会社　物流システム部　〒617-8585　京都府長岡京市東神足2-1-1　☎075-956-8033
滋賀工場　〒521-1334　滋賀県蒲生郡安土町西老蘇8-1　☎0748-46-5511
http://www.nichiyunet.co.jp/

モノづくり産業 活性化

2011 滋賀県特集

街頭で滋賀県について聴くと、「目立たない」「地味」「あまり知らない」といったイメージが強く、全国的に知られているのは琵琶湖、近江牛、信楽焼、彦根城…など。漢字なら佐賀県、発音なら千葉県と勘違いする人も多い。テレビで香川県がうどん県というPRを行っているのを見て「滋賀県もびわこ県になったら認知度も上がるのでは」という県民の声もある。こんな滋賀県だが交通の要衝という恵まれた地理的条件をバックに、全国有数のモノづくり県として発展してきた。大企業や関連企業の工場も数多く進出しており、県民総生産に占める第2次産業の割合は41・8％と全国トップ。「未来を拓く共生社会へ」を基本理念とした滋賀県基本構想が2007年12月に策定されるなど、県内のモノづくり産業をさらに活性化させるための取り組みも進んでいる。

多彩な企業が立地

全国有数の工業県に発展

滋賀県は日本のほぼ真ん中にあり、京阪神や中部圏、北陸圏にも近い。戦国時代には「近江を制するものは天下を制す」と言われるなど、近江（現在の滋賀県）は昔からの交通の要衝であり、人や物の交流が盛んな地域だった。

また、売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」で知られる近江商人のふるさとでもある。出身地域から五個荘商人、八幡商人、日野商人などとも呼ばれた彼らは、東海道や中山道などを利用して全国を舞台に活躍していた。

東海道新幹線や名神高速道路が開通した1960年代以降、工場の進出が加速し、農業県から内陸型工業県へと変ぼうしていった。現在では鉄道、道路などの充実したインフラを背景に、化学工業、輸送機械、電気機械、プラスチック、窯業・土石といった大企業の工場、研究所やこれらを支える協力企業が多数立地している。

最近の工場立地（敷地1000平方㍍以上）の推移を見ると、2002年の14件、19万平方㍍を底に、05年には35件、79万平方㍍まで回復した。08年には47件、50万7000平方㍍まで達したが、同年のリーマン・ショックを境に急落。翌09年は25件、30万4000平方㍍で、10年には24件、34万6000平方㍍となっている。

10年立地企業の本社所在地をみると滋賀県が15件と最も多く、大阪府5件、京都府3件、東京都1件。業種別では食品6件、化学工業3件、プラスチック、窯業・土石各2件などさまざまな業種にわたる。

県内で分譲している主な工業団地を紹介すると、湖南地域では草津市が新たに約3万平方㍍の規模の「大池事業用地」を開発、分譲を始めた。

JR草津駅から2㌔㍍とアクセス面で優れており、市独自の企業立地支援制度も用意している。

大津市北部の伊香立地区には都市再生機構の「びわこサイエンスパーク」がある。1500－4万5100平方㍍の5区画、延べ10万8000平方㍍を分譲する。

湖北地域では米原市が「米原南工業団地」（10万6000平方㍍）と「柏原東部工業団地」（3万7000平方㍍）を分譲中。米原南は民間主導で進めていた滋賀統合物流センター「SILC」の予定地だった。

東近江地域では東近江市の「蒲生中部工業団地」（1万3000平方㍍）、日野町の「寺尻工業団地」（2万5000平方㍍）、「日野第2工業団地」（1万4900平方㍍と3900平方㍍の2区画）など。また滋賀県土地開発公社は竜王町で「竜王岡屋工業団地（仮称）」の造成を計画している。規模は30万平方㍍程度。

甲賀市では中小企業基盤整備機構が開発した「甲南フロンティアパーク」の2万4000平方㍍のほか、「八田サテライトパーク」に4000－7000平方㍍の4区画（延べ2万4000平方㍍）、「甲賀西工業団地」でも7万2000平方㍍が分譲中。

2010年12月末に実施した工業統計調査の速報によると、県内の製造業事業所は全国26位の2855事業所（前年比4・1％減）。従業員数は同20位の14万6744人（同1％減）。製造品出荷額等は同16位の6兆5196億7900万円（同6・6％増）。付加価値額は同14位の2兆4139億5600万円（同9・6％増）だったが、1事業所あたりで見ると8億4552万円で全国トップだった。

重点4領域定め 育成

滋賀県の2011年度当初予算の中から商工関連の新規事業を見ると、滋賀の新しい産業づくり推進事業に「電池産業支援拠点形成事業」を加えるほか、地場産業総合振興対策として「伝統産業弟子入り体験推進事業」も行う。また首都圏に拠点を持たない県内の中小零細事業者の販路開拓支援として、レンタルブースや商談スペースなどを備えた「滋賀県東京ビジネスオフィス（仮称）」を整備する。

このほか「しが水環境ビジネス研究会（仮称）」の設置など同ビジネス推進事業、中小企業振興のための条例策定に向けた中小企業振興の基本的なあり方検討・推進事業、近江の工場長サミット開催なども盛り込んでいる。

県が3月に策定した産業振興戦略プランでは、こんご伸ばすべき産業として「環境」「医療・健康」「ものづくり基盤技術」「にぎわい創出・観光」を重点4領域としている。またグローバル化対応、人財育成、連携強化の3つを分野横断戦略と定め、滋賀の未来をつくる戦略産業育成事業に取り組む。

すでに「医療・健康」の領域では2004年に医療分野への進出に意欲的な企業が滋賀県産業支援プラザなどの呼びかけで「しが医工連携ものづくりネットワーク」を立ち上げている。産業支援機関や大学、病院、企業、研究機関が連携して、産学官交流や研究会の開催などで成果を上げており、会員は2010年度末で81社・団体。

これに続けと県、滋賀県産業支援プラザは「ものづくり基盤技術」「環境」の分野で研究開発や新たなビジネス展開を目指す「しが新産業創造ネットワーク」を組織化した。県内の経済団体や大学などの協力を得て、新しいビジネスを出会いから事業化までをサポートする。その第1弾として11月4日に大津市のコラボ21で初のマッチングフォーラムを開催、220人の会場定員を上回る参加者で盛り上がった。

会員は県内に事業所のある企業や大学、研究機関などで、すでに80社・団体以上が登録済み。金融を含めた産学官金の出会いの場としてマッチングフォーラムを開催するほか産学官交流サロンや新技術ギャラリーの常設といった事業を通じて、新しい産業を興すプロジェクトを立ち上げる。計画では毎年3件程度の事業化を目指す。

㊤JR草津駅から2㌔㍍の距離にあり交通アクセスに優れる大池事業用地（草津市）㊦マッチングフォーラムは新しいビジネスの出会いの場として開催された（11月4日、大津市で開催）

OHMI PRESS WORKS AND FORGING CO.,LTD
国内最大級の1万5000トン自由鍛造プレス 稼働中

あらゆる産業の進化をサポートする鍛造技術。
これまでも、これからもベーシック

近江鍛工は
未来の美しい地球を目指し
環境問題に
取り組んでいます。

ISO 9001　ISO 14001　JIS Q 9100
1999.1月　2001.2月　2007.3月
認証取得

近江鍛工株式会社
URL:http://www.omitanko.co.jp/
本社工場　滋賀県大津市月輪1丁目4番6号　〒520-2152
TEL.077(545)3281 FAX.077(545)8802
滋賀・信楽工場／長崎工場／U.S.A Office

Kawasaki

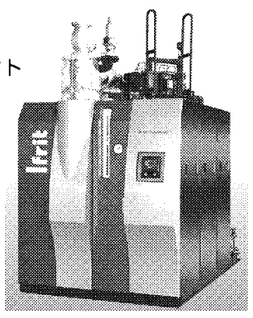
Ifrit シリーズ　大型貫流ボイラ
ボイラ技士免許不要の大容量
3,000Kg/h～6,000Kg/h

大型ボイラ並みの高性能・高機能
PI制御
先行給水補正制御
遠心分離式水分離器
多彩なオプション
ターンダウン5：1(油だき)

貫流ボイラの扱いやすさ
ボイラ技士免許不要

新オプション
■ターンダウン 10：1(ガスだき)
■排ガスO2濃度制御
最適空燃比で省エネ運転

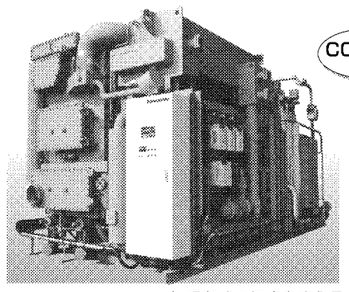
Ifrit Beat　より高効率 よりコンパクト より便利に
■ガスだき型
(0.98Mpa)
2009年度グッドデザイン賞受賞



Ifrit イフリート　従来の貫流ボイラのイメージを一新した次世代貫流ボイラ
■ガスだき型
■油だき型
■カラータッチパネルで簡単操作

「いつまでも美しい地球を…」
そんな願いを、冷・熱エネルギーの分野から追求します。

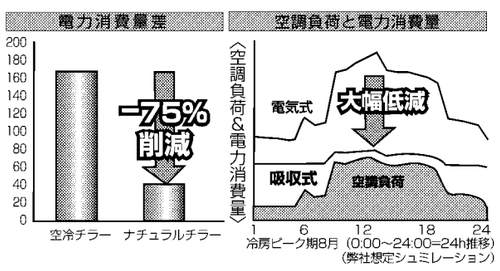
SIGMA ACE　環境にやさしい・省エネ冷水 サタデーチラー
三重効用高効率
ノンフロン空調の吸収冷温水機は、地球温暖化防止に貢献します。



COP1.74 ※JIS基準
■ガスだき型
■排熱温水投入（ジュネリンク）

◆ 吸収式の概念を変える冷房定格COP1.74
◆ CO2排出量を大幅に削減
◆ 年間運転費が大幅に節減

SIGMA ACE　三重効用ナチュラルチラー
電力平準化
熱源にガス・油・排熱を利用しますので、電力消費を大幅に低減できます。空調用途は、夏期・昼間の稼働が多く、この特性は電力ピークカットに非常に効果的です。



● ナチュラルチラー（吸収冷温水機・冷凍機）　● 水管ボイラ　● 炉筒煙管ボイラ　● 多管式貫流ボイラ　● 廃熱利用機器

川重冷熱工業株式会社
本店・滋賀工場　滋賀県草津市青地町1000番地　電話（077）563－1111
東京本社　東京都江東区南砂2-6-5　電話（03）3615－5821
大阪本社　大阪市東淀川区東中島1-19-4　電話（06）6325－0303
支社　東日本・中日本・西日本
支店　札幌・仙台・北関東・新潟・金沢・京滋・神戸・広島・高松・福岡